

「核兵器も基地も軍事同盟もない平和な日本とアジア——いま、沖縄と心ひとつに」 2010 年日本平和大会「行動提起」

2010 年 12 月 5 日 2010 年日本平和大会実行委員会

国際シンポジウム、基地調査行動、全体集会、シンポジウムと分科会など 4 日間の大会参加ご苦労様でした。

この大会で私たちは、全国のたたかう仲間の交流、そして、海外の代表との真摯な討論を通じて、国内外の情勢について学習と討論をふかめるとともに、今後のたたかひの方向を共有することができました。

残念ながら惜敗した沖縄県知事選挙ですが、この選挙戦を通じて、普天間基地の県内移設反対、無条件撤去を求めるたたかひが、さらに前進しています。伊波さんは選挙直後に、「私たちは、この問題の解決に向けてずっとチャレンジしていくでしょう。そして、いつかは私たちが勝つだろうと思っています」と意気軒昂に決意を語っています。日本政府に対して、辺野古新基地建設を断念し、普天間基地の閉鎖と撤去を求める立場で対米交渉をおこなうよう求めるたたかひをさらに発展させましょう。そして、「日本のどこにも米軍基地はいらない」の世論を広げ、全国各地の基地撤去運動の前進をはかりましょう。

北朝鮮による砲撃を許さず、謝罪を求め、責任を追及することが重要です。同時に、米韓合同演習に続く、大規模な日米合同演習にみられる軍事挑発をやめさせ、対話と外交的努力によってアジアの平和を実現するために、国内外の世論を高めるとりくみに全力をあげることの重要性が確認されました。

このような時、民主党政権が「防衛計画の大綱」策定などを通じてすすめるようとしている日米共同作戦の強化による海外派兵の本格化、武器輸出禁止原則の見直しなど、日本国憲法の原則に反する重大な転換を許さないたたかひを緊急に強めましょう。

大会の討論を通じて、改定 50 年を経過した日米安保条約が、世界で最も危険な軍事同盟であるだけでなく、国民や労働者のくらしを悪化させている源であることが明らかにされました。軍事同盟をやめて平和共同体へと向かう世界の大きな流れに合流して安保条約廃棄に向けた学習と運動を広げましょう。

核兵器廃絶をめざす新たなたたかひ、憲法 9 条を守る運動とかたく結び合って、国民的運動を発展させ、国際的な連帯を広げましょう。

佐世保・長崎のみなさんの努力で大きな成功をおさめた 2010 年日本平和大会で学習し、確かめ合った情勢の見方をひろげ、たたかひを各地で具体化し、日米軍事同盟打破・基地撤去の運動を大きく発展させ、2011 年の大会で再会しましょう。

以上をもって行動提起とします。